

佳作

# 大分の未来を担う家

## ～宇宙に一番近い県で サスティナブルな住宅を創る～

### 設計主旨

宇宙との懸け橋として、2019年にヴァージン・オービット社、シエラ・スペース社により、大分空港が宇宙港と定められた。選定理由は、▽3000m級の滑走路がある▽精密機械、自動車産業（ロケットに自動車部品の流用）に携わる企業が集積している▽宇宙旅行事業者やエンジニアなど、多くの旅行者などを満足させられる観光業や資源は集客の強みとなる一など、このことから日本で唯一の宇宙港として認定され、未来の大分に大きな影響を与えてくれそうで、期待に胸を膨らませている。

また、昨今の住宅事情では、サスティナブルな未来への開発取り組みが、キーワードとなり、ZEH（ゼッチ）住宅という、地球環境に配慮された住宅が供給され始めている。これまでの低価格、大量生産の時代から、大きな

変革が起きており、これらの事柄を踏まえながら、今回の「環境と調和する家」を設計していきたいと思いました。

地球での宇宙への玄関口として、どのような関わりを表現できるか？またSDGsに配慮したサスティナビリティ住宅、脱炭素社会に向けての配慮などを考えながら、空港近くの国東市武蔵町の向陽台に設計しました。



大分工業  
山中 颯太

